

コーディネート能力向上研修について

下記の研修を実施することにより、ケアマネジャーをはじめとする医療・介護従事者に求められる「医師や多職種とのコミュニケーション力（伝える力、必要な情報を聞き出す力）」および「ケアマネジメント力」の向上を図る。

1 目的

- (1) ケアマネジャーをはじめとする医療・介護従事者が座学研修等で学んだ知識やスキルを実務の現場で使えるようにすること
- (2) ケアマネジャーをはじめとする医療・介護従事者の調整力・対話力向上を図ること
- (3) 多職種連携のきっかけとなる顔の見える関係を構築すること

2 受講対象

ケアマネジャー、訪問看護師、メディカルソーシャルワーカー、高齢者相談センター職員 他

3 定員

30名程度

4 講師

医師、看護師、メディカルソーシャルワーカー 他

※講師は練馬区内において在宅ケアで活躍している人材が望ましい

5 実施回数

1回（3～4日に分けて実施）

6 実施時期

平成26年10月～平成27年2月

7 時間

1.5～2時間程度

8 研修内容

ケアマネジャーをはじめとする医療・介護従事者が関わる在宅ケアの 3 シーン（「退院支援」「日常の療養支援」「看取り支援」）において、必要となる調整事項や対話方法をレクチャーする。

（1）実施形式

- ① 講義
- ② グループ毎のディスカッションまたは参加者同士の意見交換

（2）テーマ

- ①（退院支援）退院前カンファレンスのあり方
- ②（日常療養支援）在宅療養現場における医療ニーズ
- ③（日常療養支援）サービス担当者会議のあり方
- ④（看取り支援）看取りにおける家族支援、グリーフケアのあり方